

拠出金名: GEO拠出金

分担金・義務的拠出金の有無		有(所管官庁) <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>			
当該機関等に対する分担金を含めた拠出総額		40,000千円			
国際機関等名	地球観測に関する政府間会合 (英文名称・略称) Group on Earth Observations(GEO)				
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関 <input type="radio"/> その他 <input checked="" type="radio"/>		
所管官庁担当局課名	文部科学省研究開発局海洋地球課地球・環境科学技術推進室				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千CHF)	レート	ODA率(%)
平成19年度	40,000		425	1CHF = 94円	0
平成18年度	40,000		454	1CHF = 88円	0
平成17年度					0
当該拠出金の目的・用途等	事務局運営経費、会議の開催				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2007年のもの)				国際機関等の財政 (2007年度決算)	
	国名	金額 (千CHF)	拠出率(注) (%)	当該年度の収入	5,129,517CHF
1位	EC	1,002	30.8	当該年度の支出	2,968,448CHF
2位	米国	706	21.7	次年度への繰越	2,161,069CHF
3位	日本	425	13.0	会計検査機関名	
4位	スペイン	245	7.5	英国国立監査機関	
5位	ドイツ	164	5.0		
当該機関等に対する我が国としての評価 (当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
平成17年2月の第3回地球観測サミットで承認された全球地球観測システム(GEOSS)の立ち上げ段階から、我が国は米、欧州と共に主導的な役割を果たし、第2回地球観測サミットの主催の他、GEO執行委員国として積極的にGEOSSの推進に参画、またデータ構造委員会の共同議長、GEO事務局に人材を派遣するなど、様々な形で貢献している。従って我が国の拠出金については応分の負担であり、GEO会合での報告においてこれら拠出金はGEOSS推進のために適切に運用されていることを確認している。					
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価					
事務局立ち上げから3年がたち、事務局運営も軌道にのりつつあるところ。更なる機能強化のため、事務局長並びに事務局の業績指標の導入を行い第三者による客観的評価を取り入れ改善を行い高品質なサービスを提供することに務めている。					
邦人職員数 うち幹部以上	1人 うち 0人	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率		18人 5%	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職員氏名		備考	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
未定					

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。